

mLAN Driver / mLAN Tools リリースノート

■ アップデートにおける主な変更点

【V1.6.2→V1.6.3】

- MOTIF-RACK XS に対応しました。使用する場合には MOTIF-RACK XS に mLAN16E2 を装着してください。Connection Manager が自動的に mLAN 接続を設定します。Connection Manager が設定した mLAN 接続は、mLAN Graphic Patchbay で変更できます。
- Vista 上のマルチメディアアプリケーションで音が再生できないことがある不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

【V1.5.5→V1.6.2】

- n8/n12/MOTIF XS8/mLAN16E2 に対応しました。n8/n12/MOTIF XS8/mLAN16E2 をご使用の場合は、Connection Manager が自動的に mLAN 接続を設定します。Connection Manager が設定した mLAN 接続は、mLAN Graphic Patchbay で変更できます。
- WDM オーディオ出力ドライバーのチャンネル数を 2 チャンネル（Out の 31 と 32）から 8 チャンネル（Out の 1 から 8）に拡大しました。また、WDM ドライバーのオーディオ出力が、ASIO ドライバーからのオーディオ出力とミックスされて出力されるようにしました。DVD 再生アプリケーションなどのサラウンド音を WDM ドライバーから出力することができます。この変更により、mLAN Auto Connector/mLAN Graphic Patchbay の WDM の設定がなくなりました。
- Windows Vista に対応しました。

【V1.5.4→V1.5.5】

- シーケンサーと mLAN Driver とでレイテンシーオフセットの値がずれることがあった問題を改善しました。
- ASIO コントロールパネルの Preferred Buffer Size 設定の単位を 1 ミリ秒からサンプル(32 サンプルごと)に変更しました。
- mLAN Auto Connector で、i88X とコンピューターを接続する場合、正しく設定できない不具合を修正しました。(for Windows XP Professional x64 Edition は V1.5.4 で対応)
- 転送方式を変更しました。
V1.5.4 以前のバージョンで使用していたコネクション情報が失われます。インストールガイドに従ってコネクションの再設定を行なってください。

【V1.5.3→V1.5.4】

- mLAN Manager のメニューに、AUTO ON 設定機能を追加しました。AUTO ON を設定すると、コンピューター起動時に、自動的に mLAN Driver がアクティブになります。

【NOTE】

AUTO ON を設定している場合、コンピューター内蔵のオーディオシステムによっては mLAN WDM がコンピューターのデフォルトオーディオシステムと競合して、接続処理ができなくなることがございます。このような場合は AUTO ON を無効にしてください。

- 接続されている機器の mLAN 設定を工場出荷時の状態にし、mLAN Driver をインストール直後の状態にする RESET ALL 機能を追加しました。
- IEEE1394 ネットワーク上で行われるデータ転送の基本クロックを生成する「ルートデバイス」を mLAN 機器に設定する機能を追加しました。

【NOTE】

ルートとは、mLAN 機器のネットワークの中で、IEEE1394 データ転送の基準となるノード（機器）を指します。同じネットワーク環境でも、ルートによって音質にわずかな差が

生じる場合があります。プロレコーディング環境などでは、音質を安定させるためにも常に同じノードをルートにすることをおすすめします。mLAN Graphic Patchbay のファイルにはルート設定も保存されます。作業中に mLAN 機器の電源を切ったり、IEEE1394 ケーブルを抜き差しすると、ルートとなるノードが変わることがございます。この場合はルートに設定したいノードのルート表示ボタンを押すか、mLAN Graphic Patchbay の設定ファイルを再度呼び出してください。

- mLAN Driver が mLAN 機器とコネクションしている状態で機器の電源 Off/On を行った時等に発生していたノイズを軽減しました。
- mLAN Driver が DAW などで使用されていないときの CPU 負荷を軽減しました。

[NOTE]

この変更により、mLAN Driver Setup の Status 表示が変わりました。

- mLAN Driver を DAW が使用していないとき→灰色
- mLAN Driver を DAW が使用しているとき→青色（正常時）、赤色（異常時）
- mLAN Driver 動作時の CPU 負荷を軽減しました。

[V1.5.1→V1.5.3]

- MY16-mLAN に対応しました。
- コンピューターの MIDI Output Plug 数を 8 ポートから 16 ポートに変更しました。
- mLAN16E の Windows XP SP2 で MOTIF ES が正しく認識されない不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

[V1.4.1→V1.5.1]

- mLAN Graphic Patchbay にテンプレート機能を追加致しました。
- mLAN Driver が Hyper Threading に対応しました。Hyper Threading 機能のあるコンピューターでその設定を ON にすると、mLAN Driver がコンピューターへ掛ける負荷を軽減してご使用いただけます。
- mLAN Graphic Patchbay の不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

[V1.3→V1.4.1]

- mLAN のネットワーク接続(mLAN Graphic Patchbay を使用しての設定)に対応しました。
- mLAN 機器側を ワードクロックマスターに選択できるようになりました。
- サンプリング周波数 88.2kHz に対応しました。
- ASIO Left Aligned Formats に対応し、Cakewalk SONAR (2.1 以降の英語版) や Steinberg WaveLab 4 にて、ASIO でお使いいただけるようになりました。
- mLAN Driver Setup から Latency の項目を削除しました。
- ASIO コントロールパネル上に、Latency の値を数値表示する機能を追加しました。
- mLAN Auto Connector で、01X, i88X, mLAN16E を切り替えて使用できるようになりました。
- mLAN Auto Connector で、mLAN 機器毎に異なるチャンネルの仕様を分かりやすく設定できるようにユーザーインターフェースを改良しました。
- 「Single Port Multi-channel モードの WDM」に非対応となりました。(特定の 2 チャンネルを WDM で使用することはできます。)
- その他の軽微な不具合を修正しました。

[V1.0→V1.3]

- Windows のスタンバイモードに対応しました。
- mLAN Driver Setup で、Driver Mode を WDM に切り替えると、Windows がフリーズする場合のある不具合を修正しました。

■ MIDI レイテンシーについて

MIDI レイテンシーは「Driver Setup」の「Required CPU」の設定により下記の値になります。

Driver Setup での設定

High Performance

送信: 2msec.

受信: 1msec.

Medium Performance

送信: 4msec.

受信: 1msec.

Low Performance

送信: 8msec.

受信: 1msec.

送信: コンピューターから mLAN 機器

受信: mLAN 機器からコンピューター

■ Windows Vista でお使いの場合のご注意

- Windows Vista では、mLAN Driver/mLAN Tools のインストールおよびアンインストールを途中で終了した場合、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示されることがあります。この場合、[キャンセル]をクリックして処理を中止してください。
- サンプリング周波数を変更したあと、mLAN WDM ドライバー経由で mLAN 機器から音が出ない場合、以下の操作を行ってください。
 1. [スタート] (→[設定]) → [コントロールパネル] → [サウンド] → [再生]を開きます。
 2. 「ライン出力 mLAN Audio Out」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
ライン出力のプロパティ画面が開きます。
 3. ライン出力のプロパティ画面で詳細タブを開きます。
「既定の形式」に変更前のサンプリング周波数が表示されています。
 4. [既定値に戻す]をクリックします。
「既定の形式」の表示が変更後のサンプリング周波数に変更されます。
 5. [OK]をクリックします。
- mLAN Graphic Patchbay の以下のリストの項目をクリックしたときに一般の警告音が鳴ります。
 - オーディオ/MIDI/ワードクロックの入力/出力端子ウィンドウの接続表示ボックス
 - オーディオ接続画面 (リスト表示) にあるオーディオ出力/接続先/オーディオ入力の各リスト
 - MIDI 接続画面 (リスト表示) にある MIDI 出力/接続先/MIDI 入力の各リスト
 - メニューバーの[表示]-[接続先一覧]を選ぶと表示される「接続先一覧」ウィンドウの出力/入力の各リスト
 - 「リソース情報」ウィンドウにあるリスト

* このリリースノートに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。